

## 新紙幣発行の経済効果に関する民間シンクタンクの試算例

○直接の経済効果：4,500億円程度

○波及効果を含めた経済効果：9,600億円程度

(GDPを年0.1%押し上げる効果)

(内訳)

	直接効果	波及効果を含めた効果	試算の前提
新紙幣製造のための支出	1,700億円程度	3,173億円程度	一枚当たりの製造原価は17円程度、98億枚発行
ATM改修のための支出	1,500億円程度	3,307億円程度	ATMは全国に約15万台
自動販売機改修のための支出	1,400億円程度	3,121億円程度	全国に約555万台

- (備考) 1. 第一生命経済研究所による試算。  
2. 新紙幣の発行が開始される平成16年度上期までの2年間の効果。  
3. 波及効果は産業連関表により算出したもの。